

# 「art slow mobility」

循環バスとスタンプシートで  
もっと自由に、もっと楽しくアートに触れる。

滋賀県都市計画基本方針、滋賀県県営都市公園マネジメント基本方針から、

- ①公共交通の需要
  - ②瀬田・南草津エリアの教育機関・地元資源を活かした施設が連携した愛着のわく地域づくり
- この2つのに着目した提案を行います



## --- 「居場所と経路を繋げる3つの特徴」 ---

瀬田駅と南草津駅を繋げる新たなバス経路



学校と文化施設に着目したバス停を設置し、学生と観光客が文化公園に訪れたいと思う新たな交通ネットワークを提案します。瀬田駅ルートは旧東海道を走り、視覚と聴覚で文化を知ることができます。南草津ルートは、学校間の交流と、気楽に移動したくなるルートを設定しました。

使いたくなるピクニックスタンプシート



ピクニックシートの素材を用いたスタンプラリーシートを提案します。バス停とその周辺施設にスタンプ台の設置と、シートの販売を行い、シート自体が部屋に飾りたくなるアートとなることを目指します。また、どこでも座りやすくなることや、目的地以外の場所にも誘導する効果があると考えます。

新たな行為を誘発する屋外アート作品



公園内にアートを設置し、文化公園自体を美術館となる場を提案します。「ピクニックしてる絵を見ながらおにぎりを食べる」など、アートがその場の利用方法を教え、公園の多様化を可能にさせます。また季節や場所でアートは変化し、何度も訪れたいくなる場になることを目指します。

## --- 「瀬田と南草津エリアを1つに」 ---

### 既存のバスルートと本数を補う時刻表の提案



既存のバスルートと本数、周辺施設の調査を行い新たな2つのルートと時刻表を提案します。南草津駅のルートは平日土日祝の運行、瀬田駅のルートは土日祝のみの運行で、図書館や美術館の開館時間に合わせて10時から17時くらいの範囲で設定します。また文化公園は、分かれている南草津駅エリアと瀬田駅エリアを繋ぐ新たな場所をして機能させます。瀬田駅ルートは、約40分することを想定し、観光しやすいルート設定になっています。

### 大学と連携を強める2つの装置

- 2つの気楽さをもつ居場所の設置
- ・大学と同じキッチンカー
- ・リモート授業を受けやすいワーキングプレイス

